

5年生「音楽科」の学習 ——— 5年生では、こんな学習をします。

* 学習の目標

- | |
|--|
| (1) 創造的に音楽に関わり、音楽活動の意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
(2) 音の重なりや和音の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
(3) 音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにします。 |
|--|

☆授業の工夫

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・音の重なりを「和音」という意識でとらえ、その響きの美しさや変化を味わって演奏の仕方を工夫することができる活動を進めます。 ・曲想を感じ取って、表情豊かに表現できるよう、声や音が重なり合う響きを感じ取りながら、美しい表現を目指す活動を進めます。 ・積極的にグループ学習を活用し、より美しい響きを求めて活動を進めます。 ・「響きを味わう」ことに重点を置いて、聴いたり表現したりする活動を進めます。 |
|--|

☆年間の学習計画

	前 期	時間	4 いろいろなひびきを味わおう	3	6 曲想を感じ取ろう	10
単 元 ・ 題 材	1 ふしの重なり合いを感じ取ろう こいのぼり いつでもあの海は 他	7	げん楽器の音楽をきこう ※今月の歌	後 期	7 心をこめて演奏しよう 卒業式の歌	4
	2 日本の音楽を味わおう 浜辺の歌 待ちぼうけ 荒城の月	3	5 重なり合う音の美しさを味わおう 静かにねむれ 威風堂々 ※今月の歌		11	
	3 アジアの音楽に親しもう アジアの国々の音楽 おはやしづくり	12				
補 充 ・ 発 展 学 習						

☆評価の観点

- | |
|---|
| 【音楽への関心・意欲・態度】
・音楽に関心をもち、進んで活動しようとしている。 |
| 【音楽的な感受や表現の工夫】
・音楽の豊かさや美しさを感じ取り、表現や鑑賞の仕方を工夫できる。 |
| 【表現の能力】
・自然で無理のない声で歌い、音色の特徴を生かして楽器を演奏できる。 |
| 【鑑賞の能力】
・曲想を全体的に味わって聴くことができる。 |

☆評価の方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習態度や発表 ・プリント整理 ・実技のテスト などを総合的に評価します。 |
|---|